

## 細江カトリック教会だより 6月

〒750-0016 下関市細江町 1-9-15

☎083-222-2294 ☎083-222-0970

広島教区テーマ：平和の使徒となろう

チャレンジ新しい福音宣教 ～わたしをお使いください～

—家庭へのチャレンジ

### 聖心の月に

草木の生い茂る季節になりました。

六月はカトリック教会の伝統で、「聖心」の月とされています。しかし、最近では聖心のことをあまり聞きませんし、聖心の信心も忘れられがちのような気がします。本当は、聖心への思いは単なる信心にとどまらず、キリスト教の信仰の中心的な事柄なので、放ってはおけません。

一つには「主の祈り」の口語訳にともなうて、昔は神さまの「みむね」と言われていた言葉が「みこころ」と改訳されたことから、意味が混同されるのではないのでしょうか。聖心(みこころ)とは、主イエスの人間としての愛の心のことを指しています。

神さまは目に見えません。そして、私たちの世界を無限に超える方です。しかし、神さまは主イエスをお遣わしになって、主イエスを通してご自分の愛の心を手に取る形で現してくださいました。「わたしを見る者は、父をも見る」(ヨハネ 14・9 参照)とされているように、私たちは主イエスと出会うときに、神さまと出会います。

主イエスは、私たちと同じ歴史の中に生きた方です。たとえ時間と場所が離れていても、私たちと同じ空や野山を眺め、同じ空気を吸った方です。そして、復活の後は、いつも、どこでも、私たちとともにいてくださる方です

私たちは、主イエスが病に苦しんでいる人や孤独の人に神さまの愛を告げ、闇の中に沈んでいる人に光、失意の人に希望をもたらしたことを知っています。また、最後には私たちを救うために自らのいのちを差しだしてくださったこと、今日もミサを通して私たちにいのちを与えてくださっていることを信じています。その具体的な人間イエスの心に思いを馳せることを通して、私たちは父である神さまの心を感じとることができます。



なるほど「聖心」の画像やシンボルは時代や文化に影響されたものであり、私たちにはしっくりこないかもしれません。しかし、人間は自分の信仰を深めるための助けとして、何か「形」が必要です。「信心」は信仰を養うための一つの形です。そして、主イエスの人柄のいちばん奥に燃えていた愛こそは、私たちにとって神さまを啓示するものであり、

私たちが絶えず追い求めるべきもの、私たちの人生に勇気と希望をもたらすものです。聖心の信心は、今日でも大切な役割を果たすものだと思います。

ところで、ひよんなことで「心の泉」のグループが、「聖書いろはかるた」を作り始めました。一人ひとりが読み札の原案を作ってきて、皆で一緒に検討して、全体の原稿がほぼできあがっています。その中の一つ。

「疲れたら イエスのそばで 一休み」

これは、「疲れた者、重荷を負う者は、だれでもわたしのもとに来なさい。休ませてあげよう」(マタイ 11・28)という言葉に基づくものです。ときには人生の旅路に疲れを感じる私たちですが、そのときには一緒に重荷を負ってくださる主イエスのもとにいきましょう。それは、暑い日照りの日の木陰のようです。

百瀬 文晃 神父

★挿入画はフラ・バルトロメオ「エジプト逃避途上の休み」1500年頃

## 地区だより シリーズⅡ

私は信者の家庭に生まれ、幼い頃から両親が家や教会で祈る姿を見て育ちました。

神を信じる心、神の恵みのうちに生かされていること、今では洗礼を授けてくれて信者として生きていけることを両親に感謝しています。

今、私も親となり子供達に洗礼を授け、祈る姿はあまり見せることはできませんでしたが、嫌がらず教会に関わってくれています。今でも両親の祈る姿が思い浮かびます。

私は思います。・・・子供達が結婚し親になり、「子供に洗礼を授けさせたい。神への感謝を忘れず、信者で良かった」と思えるよう私も両親の姿を見て教わったように・・・その姿を見せることが親としての大切な勤めだと。

それが“家庭へのチャレンジ”だと私は思います。

まだまだですが。

中央地区 白浜 幸一



## 介護研修会 4/26(日)

『知っておきたい 認知症講座』



4月26日(日)、ミサ後「てとてとて」(あなたとわたしとイエスの手)主催の認知症講座が教会ホールで開かれ、50名を上回る人たちが二人の講師のお話にも熱心に耳を傾けました。

第一部は、「認知症を理解する」と題して、介護所の所長をしておられる中岡浩史さんが、認知症とは何か、認知症の症状、認知症の人と接するときの心構えや支援などについて、スクリーンに映し出したテキストや図を使いながら、分かりやすく解説してくださり、参加者一同、認知症についての認識を新たにしました。15年後には4人に1人が認知症の一つであるアルツハイマー病を発症する可能性があるとの統計に、驚いたり、不安を感じたりしながらも、高齢化社会にしっかりと向き合っ、人間らしく生きる基本姿勢を学んでいきたいと思います。

第二部は鳥居紀子さんが、認知症の人を取り巻く環境、認知症の人への対応の心得を具体的な事例をたくさん挙げながら話してくださり、感銘を受けました。外面的にはさまざまな機能が低下していても、認知症の人に、神の似姿として造られた尊厳を持つ一個の人間に対する尊敬と愛情をこめて、接することの大切さをまた改めて思いました。また認知症介護には、さまざまな創意工夫をこらすと共に、一人で抱え込まずに、支援の法的制度を利用することも、大切だと思ったことでした。

イエスの小さい姉妹会 カタリナ和子

## 乙女峠祭り巡礼 5/3 (日)

## 乙女峠巡礼を通して自分の心を問う



殉教を他人事のように思う自分がいた。乙女峠友の会に入会して、殉教者に肖りたいと、祈り巡礼を

続けている。本年も、Y神父から案内の絵葉書で励まされた。

今日の教会は、「殉教者の教会」とフランシスコ教皇の言葉がカトリック新聞5月3日号にあった。主の復活祭を祝い、復活節第5主日が乙女峠まつりに当たり、巡礼には最もよいときであったと思う。

野外ミサの説教は、私の耳の補聴器では聴きづらかったが、前田万葉大司教が信仰の大切なことを力説されたことは伝わってきました。殉教者の生き方に教えられ、励まされ勇気を頂く。殉教者裕次郎は祈りの中に、雀の親子に神からのメッセージを受け取り、主の愛につつまれて行ったではないか。

生活の中に神からのメッセージを受け取り、聖霊の交わりの中で神への道を歩まねばと思う。私の心は常にぶれているから「主よ、あなたのもとに私の心をとめてください」と祈る巡礼となった。

以前ある会合で「クリスチャンは口先はよいが実行しないから嫌いだ」と言われたことがある。キリストに続く殉教者がいることを知らない世間には、そのように思う人もいるだろう。殉教者が示す愛の道を一步一步進みたい。

さて、巡礼の私達の役割は、教会の幟を持って行くこと、弁当を受け取って注文した人に渡す、又バス代を受け取ってリーダーに渡

すことだった。認知症も間近い私は不安があったが、何用の役割であっても主のみ旨なら、聖霊と共に行えば何とかしてくださると思う。

朝7時に大型バスで彦島・細江・長府乗り合せて40名の参加。19時前に帰着で巡礼を終わる。

主の計らい、み旨を通して、巡礼を黙想する。主のメッセージを受け取りたい。生憎の雨と思ったのは、恵みの雨だった。木々の緑美しく、心洗う雨だった。乙女峠の混雑は、巡礼者各自の聖霊の交わりであった。弁当を渡すために尋ねた神父は、その交わりの中におられた。ふと、聖書のキリストと群集を思った。

弁当を雨合羽で抱いて運ぶ、Kさんの姿に聖霊の働きを感じた。

慌てていたら、手洗い場でいつもの様に奉仕を続けておられるSさんに会った。聖徒の交わりの中で、主の聖霊は働いておられる。

気付かぬことも多くあると思うが、皆さんのお心遣いで巡礼の役割は終わった。

心の較差に落ち込んでいたら、『毎日のミサ5月13日』福音書ヨハネ16:12-13

「言っておきたいことは、まだたくさんあるが、今、あなたがたには理解できない。・・・真理の霊が来ると、あなたがたを導いて悟らせる。」復活節の典礼を今一度黙想した。恵み多い巡礼であった。

北部 江原 彰一



\* 雨の恵みを受けてミサが続く。

心の泉 に参加して

一年前から、アントニー・デ・メロ著「心の泉」による黙想と分かち合いに参加しています。

呼吸を整え、周りで聞こえる音に耳を傾ける時間……。そして、その日のテーマの朗読を二回聞き黙想する時間。自分の心の奥底に分け入っていく……。その後の分かち合いで、気づきや感想を述べ合う。同じ文章を読んでも自分が目に留めなかった箇所に深い意味を感じる人、又一番心に残る一節が同じときには、「そうそう」と盛り上がったりで、私にとって、とても幸せな時間です。

最近心に一番残ったのは、「生きることは今に生きること」

みなさんどなたでも心の泉に参加してみませんか。

上田 洋子

マリッジエンカウンターは、カトリック教会の運動の一つです。「ワールドワイド・マリッジ・エンカウンター」と呼びます。

この名前のように全世界的な運動です。その目的は、家庭や社会においてさまざまなかわりかかわりの基礎となっている夫婦のかかわりを、夫婦たちが大切にして生きることです。

＊10月10日（日）～12日（月、祝）に福山暁の星学院研修センターにおいて「マリッジ・エンカウンター・ウィークエンド」が開催されます。それは夫婦のかかわりを深める体験的プログラムです。自分自身を見つめ、日常生活のわずらわしさから離れ、夫婦の互いの関係や神との関係、そしてまわりの人々との関係を見直すための助けとなり、二人の将来を見つめるホッとした一時になります。

（問い合わせは教会事務まで）

## 典礼と行事

- ＊6月 7日（日）キリストの聖体  
子どもの洗礼
- ＊6月 9日（火）19：00  
ブロック委員会
- ＊6月13日（土）10：00～15：00  
ボランティアの集い（宇部教会）
- ＊6月13日（土）サビエル高校祭
- ＊6月22日（月） 9：30 常任委員会
- ＊6月22日（月）19：00 広報委員会
- ＊6月28日（日）聖ペトロ使徒座

## 講座案内 （6月の予定）

- ☆ キリスト教入門講座 ☆  
10：30～12：00（土）  
6月6日、13日、27日
- ☆ 信徒の神学講座 ☆  
19：30～21：00（火）  
6月2日、16日、23日、30日

## 平和の使徒推進本部よりお知らせ

戦争と平和モニュメント写真  
と訪問記の募集をします！

広島教区「平和年」が2014年から開始され、その取組で司教区内にある「戦争と平和」に関する記念碑等モニュメントを調査や訪問することが挙げられています。

個人でこの活動をする方の写真や訪問記（感想文や調査文等）を募集！

- 応募資格；広島司教区に在住の方
- 応募規定；広島司教区にある戦争や平和のモニュメントを撮影した写真とその訪問記（2000字程度）

＊詳細は教会玄関掲示板をご覧ください

## マリッジエンカウンターのご案内